



7月17日「マザー&キッズ」利用者の皆さんとの懇談の様子

# 子育て特集 パパママたちの本音は？

転勤で来る家庭も多い浦河町では、子育てサークルの活動を通じて知り合いの輪を広げ、楽しく子育てをしているパパママたちがいます。

子育てに奮闘するパパママたちが抱えている悩みや不安など、子育て医療課のスタッフが本音をうかがいました。

## 町の子育て施策の評価は

浦河町で行っている子育ての取り組みで、これは役に立ったなとか、そういう事業はありましたか。

Aさん すくすく健康づくり券（子育て家庭医療費支援事業）ですかね。前に住んでいたところでは初診料の580円は自己負担だったので、この分も対象になるのは助かっています。

Bさん でも、正直言うと子ども券の換金が面倒くさいで

町内には3つの子育てサークルが活動しています。詳しい内容は、子育て支援センター（☎24-4141）まで。

マザー&キッズ	キッズパーティー	ベッキーズ
パン作りや乗馬、水遊びなど、毎月1回集まって親子で楽しむ活動をしています	毎月1回参加できる親子が集まって、外遊びや風船遊びなどをして遊んでいます。	不定期で主に外遊びを中心に活動する野外サークルです。

す。せめて小学校卒業までは医療費を無料でかかれるようにしてほしいかな。

確かにそういった声は多くいただいています。しかし、町としては、この事業は町の税金で賄っているものですが、医療費の助成と商店街の活性化により町内で還元する仕組みとしたものです。

では、新生児に木の食器セットなどを贈呈する町の木育事業については、どう思い

放課後児童健全育成事業	紙おむつ処理用ごみ袋の支給	新生児聴覚検査 <small>平成30年度新規事業</small>	妊婦歯科健診 <small>平成30年度新規事業</small>	不妊治療費助成事業
予算額 2,050万円	予算額 86万円	予算額 27万円	予算額 15万円	予算額 100万円
児童館や小学校・幼稚園の余裕教室を利用して放課後活動の場を提供	2歳未満の子どもを対象に紙おむつを処理するためのごみ袋を支給	新生児の聴覚疾患を早期発見するための検査費用の一部を助成	妊婦の歯周病を予防するための検査費用の一部を助成	一般不妊治療や特定不妊治療を受けた方に治療費の一部を助成
担当：子育て医療課	担当：子育て医療課	担当：保健福祉課	担当：保健福祉課	担当：子育て医療課

## 平成30年度 子育ての 手当や制度

お問い合わせ先  
子育て医療課  
☎ 26-9002  
保健福祉課  
☎ 26-9004  
給食センター  
☎ 25-2515



ますか。

**Bさん** この際だから正直に言います。もったいないと思いつつも、じやまになったので捨ててしまいました。

**Cさん** お皿はいいのだけれど、スプーンが浅くて使いにくかったのよね。おままごとには使えるけど(笑)。

——これは改善が必要ですね(汗)。木工玩具は積み木セツトやおもちやを贈呈していますが、ほかにどんなものがあったら良いですかね。

**Aさん** 木琴や太鼓など、楽器系はいいかも！

子育て情報の発信は

——スマートフォンが普及していますが、子育て情報の発信は、専用のアプリ\*があると便利でしょうか。

**Aさん** 年代にもよりますよね。子どもの目の前で携帯を操作すると、かえって子どもが見たがってしまふんですね。LINE\*のように、一方的に情報が発信されるのならいいけれど。

でも、私は今までのように印刷したものがいいかな。  
**Cさん** LINE\*を使っている人もいるよね。メールで

- \*アプリ(アプリケーション)…スマートフォンなどに入れて使える様々なソフトウェアのこと。
- \*LINE…スマートフォンなどでインターネット電話やチャットを行うアプリのこと。
- \*QRコード…正方形の形をしたコードをカメラ付の携帯電話などで読み取るだけで情報を得ることができる二次元バーコードのこと。

## 新しい取り組みを始めます！

### 幼児期からの 学びの土台づくり事業

小学校に上がったお子さんの中で、体幹が弱くて姿勢を保てなかったり、授業に集中できない子が増加しつつあり、幼児期から体を使った遊びを通じた基礎体力づくりの必要性が高まっています。

このため、町では札幌国際大学と連携して、今年度から「幼児期からの学びの土台づくり事業」を始めます。

保育士のスキルアップをはじめ、秋冬ころには親子講座を開き、幼児でも楽しんでできるプログラムを考えています。

内容が決まり次第、お知らせします。

浦河町は子育てしやすい？

——最後に、浦河での子育ての満足度はどうでしょうか。  
**Dさん** 買い物や託児の面では不便なところもあるけど、



もいいんじゃないかな？

**Dさん** QRコード\*で登録できるなら楽だよな。

子育てしやすいほうじゃないかな。

**Bさん** 園の先生たちはすぐく一人ひとりをよく見てくれてるなど感じています。名前もすぐに覚えてくれましたし。前に住んでいたところではなかったことなので、距離感が近いのは浦河の良いところだと思います。

——今日はたくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。

日ごろからわからないことがありましたら、遠慮なく子育て医療課までお問い合わせください。

このほかにも子育てをサポートするメニューがあります。詳しくは、「こそだてサポートブック」をご覧ください。



多子世帯の学校給食費の減免	子育て支援住宅	子育て家庭医療費の支援	木育事業
予算額 792万円	予算額 5,060万円	予算額 2,085万円	予算額 158万円
18歳以下の子どもが2人以上いる世帯の第2子以降の学校給食費を減免	子育て世帯向けの住宅を荻伏地区に新築整備(2棟2戸)	医療費の自己負担額を「すくすく健康づくり券(500円単位)」で助成	新生児に木の食器セットや木工おもちゃなどを贈呈
担当：給食センター	担当：子育て医療課	担当：子育て医療課	担当：子育て医療課